



育成だより

第17号

平成14年3月31日

貝塚中学校区
青少年育成委員会

住み良い地域社会を

今年度は、永い間青少年健全育成活動にご尽力された顧問の積田常吉様と常任相談役の田中信夫様が、相次いでご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、平成九年以降、青少年による凶悪事件の多発や薬害乱用、児童虐待問題など少年が、被害者、加害者となる事件の増加等、少年をめぐる問題は深刻な状況にあり、その対応が社会的課題となっておりま。この状況のなかで、学区内小中学校では、地域ぐるみ音楽祭環境美化運動・花いっぱい運動の推進等を行っております。

また青少年育成委員会では、各専門部会活動として、書き初め展、学区内一斉点検バト



貝塚中学校区
青少年育成委員会会長

関塚 昭男

ルール、講演会、研修旅行、環境浄化運動等を実施しました。

昨年十月には学校・PTA・地域連携の努力が認められ貝塚中学校が市教育委員会より、荣誉ある教育功労賞を受賞されました。

このことは従来の活動に対し学校と地域住民皆様によるご協力の賜物と深く感謝いたします。



苗木を育てるように



貝塚中学校 校長

大森 俊郎

十一月二十八日、新世紀・市政施行八十周年若葉区記念植樹の一環として「陽光」という品種の桜を生徒会本部役員を中心に武道場前に植えました。春を待ちかねたかのように蕾が膨らんできています。本校には

プールの前に、開校当時に植えられたであろう幹の周りが一六〇センチにも成長した「染井吉野」が三本、毎年新一年生の入学を祝うかのようにすばらしい花を咲かせます。記念植樹された「陽光」も除々に成長し、きつとそれに負けない花を咲かせてくれることと期待しているところで

す。
青少年の健全育成も一夜にしてなし得るものではありません。苗木を育てると同じように、子供たちが、一人歩きできるよう大人が導いてや

ることが大切です。そのためには、家庭はもちろんのこと青少年育成委員会を中心とした地域の方々が、青少年の健全育成は地域ぐるみで育もうという気運を高めることが必要と考えます。



学校は平成十四年度から週五日制となります。地域の皆さんのより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

安全な通学路から
楽しい通学路へ

北貝塚小学校 校長

山口 正弘

「明るく安全な通学路の確立」

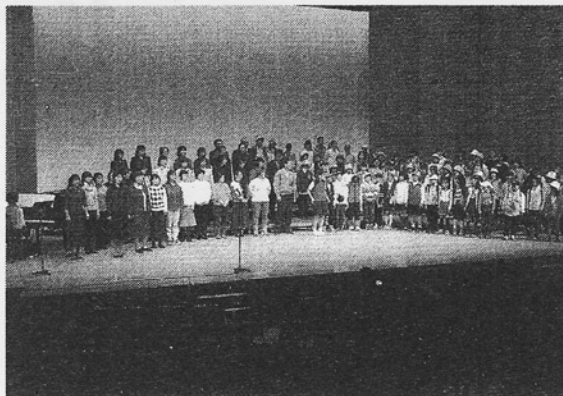
これは、貝塚中学校区青少年育成委員会の長い間の一貫した活動の中心になって居ります。三年前にこの地区でお世話になるようになってからそのことを実感したことが何度もあ

りました。五十号バイパスの開通、続いて若葉大橋の開通と幹線道路が二本できたため、交通量が激増しました。そのために、児童、生徒の通学路の危険度も大変高く、保護者も大変心配されたわけですが、北貝塚小の近くの若葉大橋の開通にともなう、校門側の交通量の激増による通学路の安全確保については、育成委員会会長はじめ、委員の皆様による事前の熱心な働きかけによって、信号・ガードレール等の設置を実現することができました。

お蔭様でこの三年間、事故らしい

事故がおきて居りません。これからも気は抜けませんが、育成委員会の皆様の活動があればこそと感謝申し上げます。また、原陸橋のガードレール設置についても、ご尽力いただきました。

こうして児童、生徒の通学路の安全確保が一段と進みましたが、これからはその通学路が楽しい道になればと思います。



子供が育つ環境とは



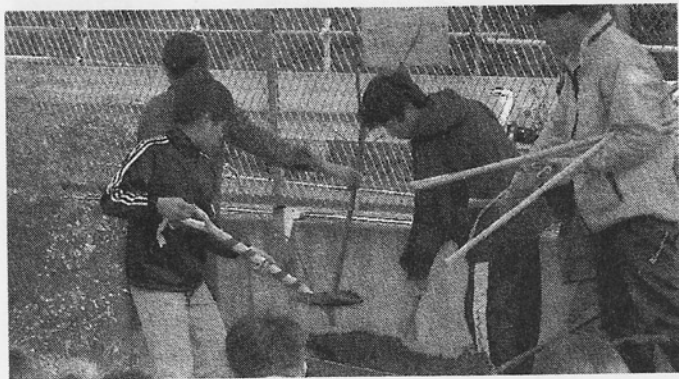
桜木小学校 校長
深山 寛

いつの時代でも子ども達は活力があり、色々なことに興味や関心を示すものである。これがどう伸びていくか、育っていくかは子どもをとりまく環境や出会う人々によって左右されることは言うまでもない。今の子ども達が理想的とは言わないまでも健全に育っていくと言える環境とか人間関係はどうあればよいか、私達大人、とりわけ教師にとって、とても大きな課題である。

昨年機会があつてヨーロッパの数カ国を視察することができたが、どの国も街中に自動販売機がなく、商店も夜八時ないし九時には閉まる。日本のようにコンビニエンスストアがないからである。また、日曜日にはほとんどの商店が休みである。子ども達は自然に夜街中を徘徊することなく、また日曜も家庭で過ごすことになる。日中は友人等の他人との

交流があり、夕方から夜は家族との交流が主となる。このような環境がベストとはいわないが、現在の日本の社会と比べ考えさせられることが多くあつた。

便利さも大切だがこれからの国を背負って立つ青少年の育成を考えたとき、考えなおさなければならぬこともあるようだ。



第五回ふれあいコンサート

北貝塚小学校 教頭 長峯 修二

三月二日、若葉文化ホールにて、北貝塚小の「吹奏楽部」「合唱部」を中心に、教職員、保護者の参加による感動的なコンサートが行われました。

教育委員会のご後援により、ホール借料の減免があり、学校としては大変助かっているところですが、このような素晴らしい会場で子ども達の日々練習した成果を発表できることは、本当に心に残る思い出となった事でしょう。

今年は、保護者の方にも一緒に歌いませんかと呼びかけ、多くの教職員と共に、数少ない練習で、一番のステージに立つことになりました。久々の緊張の場面でしたが、子ども達の迫力のある発表にまけじと精一杯歌っていました。

この「ふれあいコンサート」は学校と家庭・地域が音楽を通して交流を持つことを目的に行っています。当日は、地域の方や多数の保護



者の方にお出でいただき、コンサートを盛り上げていただき感謝申し上げます。今後もより充実した「ふれあいコンサート」になるよう頑張っていきます。

貝塚中学校区 青少年育成委員会の歩み



故 田中 信夫氏
(前貝塚中学校区育成委員会会長)



故 積田 常吉氏
(前貝塚中学校区育成委員会顧問)

平成十四年一月十八日に、前貝塚中学校区青少年育成委員会々長田中 信夫様が、また十三年八月六日には顧問の積田常吉様が、ご逝去されました。

お二人は、昭和六十年五月四日に貝塚中学校区青少年育成委員会が設立されて以来、永きにわたり青少年の健全育成に「尽力されてきました。これを機に「育成だより」をもとに育成委員会の歩みを振り返ってみた

いと思います。

育成委員会の大きな成果として貝塚中学校区から「不良図書販売機」をなくした事があげられます。

昭和六十年度の夏休みに、不良図

重点事業等一覧

昭和60年度

育成委員会結成

事故と非行のない町づくり

— 標語看板の設置 —

昭和61年度

不良図書児童販売機の撤去

昭和62年度

昭和63年度

平成元年年度

平成2年度

平成3年度

青少年をシンナーから守ろう

平成4年度

健全育成標語看板を各町内会に

平成5年度

明るい通学路の確立

書販売機の設置状況の調査をし、桜木地区・都賀地区にある販売機の業者などに、その撤去の申し入れを開始しました。

その後数年間、根気強く運動を続けた結果、平成元年には、桜木地区に残っていた不良図書販売機が撤去され、貝塚中学校区からは不良図書販売機は完全に排除されました。

平成三年には、「シンナー追放」を目標に掲げ、点検活動が続けています。

育成委員会設立まもなく貝塚中学校生徒から標語を募集し「健全育成標

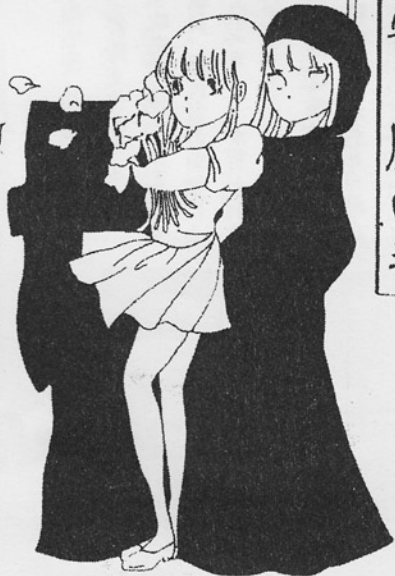
語看板」を作り、各町内会にご協力いただき設置する活動を続けています。

また、平成五年度からは、千葉北バイパスの開通に伴い、明るく安全な通学路の確立を目指し、健全育成活動を続けています。

平成十二年度から、関塚昭男会長を中心に、今までの活動を引き継ぎながら、地域と共に青少年にとってよりよい環境づくりを目指して活動しております。

今後とも、地域の皆様のますますのご理解、ご協力をお願い致します。

シンナーの 乱用を追放しよう



忍び寄る魔の手

貝塚中学校区青少年育成委員会
千葉 東 警察 署

見つけたら連絡を
連絡先 千葉東警察署 (33-0110)

御田植を奉仕して

原町熊野三社大神総代

本木 信夫

平成九年度の早春、登渡神社から正式に神事の「御田植」のお話があり、私の田を御斎田として御田植を行うこととなりました。登渡神社宮司より伊勢神宮から「イセヒカリ」の粳種をお受けできるとの吉報をうけ、身の引き締まる決意のもと町内の皆様のご協力を得、準備を進めてまいりました。

そして春たけなわの四月二十九日、登渡神社の宮司はじめ登渡会として原町内の氏子の皆様と共に、御田植祭斎行後に手植えをし、それからの約五ヶ月余り梅雨、台風、日照



り、鳥害と心配と緊張の日々の連続ではありましたが苗はすくすくと成長を続け、二百十日も過ぎたころ稲の新穂に涼風がわたり、十月初め待ち望んだ刈り入れに黄金色の重そうに頭を垂れた稲穂を手にした喜びは感動でいっぱいでした。

そして十月の半ば収穫した「イセヒカリ」を伊勢神宮に奉納の神事を済ませました。春からの一連の登渡神社、原町熊野三社大神の「御田植」行事も無事終了の運びとなりました。

今振り返りますとこのような貴重な体験ができましたことは原町氏子の皆様の誇りでもあり、また本木家代々に語り継がれるものと確信しております。

ナイトウォークラリー

貝塚中学校協力会

会長 工藤 顕介

私達貝塚中協力会は、発足以来学校環境整備や、夜間パトロール等子ども達の安全を守るお手伝いを行ってききました。ここにて先生方をはじめ、皆さんの努力によって落ち着いた環境が戻ってきました。

そこで、健全育成のお手伝いとして、楽しいことをやろうと今回の企画となりました。



夏休みも終わりに近い八月二十五日、ラリー参加者七十一名、サボート車両六台にて都賀駅発最終電車まで松尾駅まで、そこから蓮沼海岸まで班ごとに出発。真つ暗な真夜中の田舎道、海岸での花火、夏のよい思い出ができました。

校長先生をはじめとする先生方、PTA会長の多大なご協力に感謝します。

点検パトロール

地域ぐるみで、子ども達のために、夏休みと冬休み年二回、通学路の点検活動を行い、安全を確認し育成委員会会長・事務局が若葉区役所・千葉東警察署等に行き連絡・要望をしました。



コース 参加者	A	B	C	D	E	F
点検箇所	・美しの森公園 ・姫座都賀	・谷ヶ上公園	・市民の森	・第二公園 ・コンビニ・ムラクニ ・セブイレフン	・セブイレフン	・原降橋下セブイレフン ・レブン脇信号 ・西部賀
気付いた点	・トイレの壁に落書き ・レジの近くに写真集のコーナーがある	・たまり場のようなところあり	・ラジカセ等の不法投棄 ・「千葉市」の看板が倒れている ・盗難財布・バッグ発見 ・マッチャタバコの吸い殻が散乱している ・有害図書あり	・ホームレスがいる ・裏の階段に放置自転車あり ・駐車禁止の看板が放置されている ・どちらが優先か分かりにくく事故の可能性が大きい ・溝のカバーが破損している	・有害図書あり	・なかなか右折できない ・子供たちにとって危険である ・ひったくりが多い ・不法駐車が多い
対策	・若葉区役所地域振興課に処置を依頼する		・若葉区役所地域振興課に処置を依頼する ・若葉区役所地域振興課に処置を依頼する ・交番に届け出た。(12月15日)	・若葉区役所地域振興課に連絡する ・千葉東警察署に処置を依頼する		・千葉東警察署・若葉区役所地域振興課に処置を依頼する。(ミラーの取り付け) ・千葉東警察署に連絡する ・千葉東警察署に処置を依頼する
対応						

研修旅行を終えて

絶好の旅日和に恵まれた二月二日土曜日、大型バスのサロンカーで若葉区役所前を出発した一行は一路大滝方面へ向かいました。

県の資料をもとに青少年問題について車内研修に臨んだ。大多喜についてからは高滝湖畔を散策し高滝神社に参拝。ゆかりの伝説と土地の人の言い伝えを知りました。

千葉県育成牧場では、広大な敷地の絶景に感動しつつ狂牛病問題に思いを馳せました。昼食は粋なつくりの葛料理屋、「携帯電話も通じない山奥にこんないいところがあつた」と感激。

大多喜城では最上階までえつちらこ。今は落ち着くこの地も鎌倉時代からの激動の武家の歴史が刻まれていることを実感しました。

お買い物を終えて、定刻に帰着。皆様のご協力によりとてもいい研修旅行となりました。心より感謝申し上げますと共に、ご報告いたします。

レクリエーション部会 今村 敏昭



編集後記

本年度、貝塚中学校が千葉市教育委員会より栄誉ある教育功労者(学校)の表彰を受けました。

これは、学校経営の充実・保護者並びに地域の皆様のご協力の賜物と思えます。

育成委員会だよりの第十七号発刊にあたり、何回も集まり夜遅くまで編集会議を致しました。ご一読いただければ幸いです。